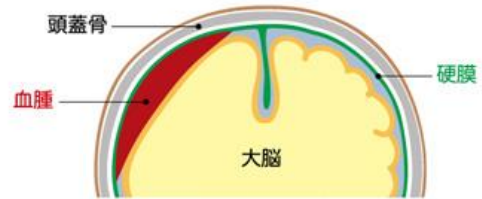


慢性硬膜下血腫

(まんせいこうまくかけっしゅ)



主な症状

- ・頭部外傷の後、1～2カ月経ってから、徐々に出現する、頭痛(それほど強くないことが多い)や片マヒ(片側の手や足の動きが悪くなること)、認知症状(物忘れや行動異常)などが主な症状です。頭部外傷歴がない場合でも発生します。
- ・60歳以上の高齢男性に多く見られますが、女性の方でも、また、比較的若い成人の方でも見られます。
- ・乳幼児では、成人とは異なり、機嫌の悪さ、けいれん発作、嘔吐などが主な症状です。
- ・脳とそれを包む硬膜(頭蓋骨の内側にある)の間にじわじわとゆっくり血液がたまることによります。(頭部外傷受傷直後の画像検査では、まだ血腫が存在せず、異常を発見できません)。

特に注意すべきこと

- ・高齢者の場合、特に頭痛や片マヒ症状が明瞭でなく、物忘れや意欲の低下などの症状が徐々に出現した場合などで、アルツハイマー病や動脈硬化による認知症状と間違えられて、どうせ治らないのだからしばらく様子を見ようなどという理由で、受診する機会を逃し、診断が遅れることが少なくありません。
- ・頭部外傷の程度は比較的軽いことが多く、しかも時間が経過してから、徐々に症状が出てくるので、周囲はもちろんのこと、本人さえ頭を打ったことを忘れがちです。
- ・乳幼児の場合には、頭部外傷以外に、体を強く揺さぶられるだけでも発生します。従って、揺さぶった親などの大人が、「乳幼児が頭部外傷を受傷した」という認識を持ってないことが少なくありません。
- ・乳幼児(児童)虐待でも、しばしば認められます。

診断、治療、予後

- ・診断は、神経学的な診察の上、頭部CTやMRI検査などの画像検査で簡単につきます。
- ・血腫が小さければ自然吸収を期待できますが、大きくなれば手術で取り除くしかありません。
- ・通常は局所麻酔下で、頭蓋骨に小さな穴を開け、血液を取り除くだけの簡単な手術ですみます。早期に適切な治療が行われれば、症状は劇的に改善し、後遺症もなく治ります。
- ・しかし、治療開始が遅れると、片マヒや認知症状などが後遺症として残り、最悪の場合には死に至ることもあります。

医療機関を受診する目安

- ・頭部外傷後に上記のような症状が見られたら早めにお近くの脳外科を受診してください。

新潟市急患診療センター (電話025-246-1199)

<http://www.niigata-er.org> © 2014 NGTER.org